

今治市立統合小学校・玉川中学校

小中が連携した9年間の取組

R9年度～	小中連携校準備期間 (施設分離型・・玉川中、鴨部小、九和小)	出会いと地域の特色を理解
R11年度 ～	小中連携校 (施設一体型・・玉川中敷地において)  小中一貫校 小規模特認校制度	小中9年間の連続性を意識 学校の魅力・特色を発信 地域の特色ある教育を維持

玉川わくわくモデル（仮）

自然と育つ、玉川の学び

- 自然環境を生かした
地域探究カリキュラム
- 玉川地域の自然環境の教材化
 - ・小1～中3で段階的に学ぶ
 - 地域住民による指導（農業・自然）
 - ・小中学校で共通の「地域学習单元」

少人数の強みと、続く学び

- 学習・生活・進路などの
継続した支援
- きめ細かな学習指導
 - ・読み書き/計算/英語/ICT
 - 生活指導の方針を小中学校で統一
 - 進路指導の早期化

地域

学校運営協議会

学校

- 小中合同の「縦の学びコミュニティ」
- 「学び方指導」
 - ・小学生が中学生から学ぶ
 - 「学びのリーダー制度」
 - ・中学生が小学生を支援する
 - ・自己肯定感・責任感の向上

- 小中学校9年間の学習体系化
- 小学校（1～6年）
 - ・上学年や中学校の学習内容を前倒し可能にする
 - 中学校（1～3年）
 - ・小学校での学習内容を基盤に体系的に積み上げ

支援・連携

多様な考えに出会う学び

カリキュラム編成の工夫

教育委員会